東京都立 祝 高等学校
創立新宿周年
府立第六中学校
2022

募金趣意書（第Ⅲ期）
～創立100周年記念募金～

～ ごあいさつ ～

東京府立第六中学校として設立された東京都立新宿高校は、2022年に創立100周年を迎えます。この間、様々な困難と幾多の挑戦がありましたが、「全員指導者たれ」との校是の下、多様な分野で社会に貢献する人材を数多く輩出してきました。次の100年に向けて新宿高校をさらに発展するために、教育環境を一層充実させる必要があります。100周年記念事業はその一部です。2015年からⅡ期４年進めてきました募金活動は、2019年３月末現在で、総額５千５百万円、個人・有志・卒業年など延べ2,500件にのぼりました。深く感謝申し上げます。

しかし、募金目標の１億円にはまだまだ達しません。そのため第Ⅲ期の募金を開始し、皆様のご協力を再度お願いする次第です。年金世代も頑張っていただいていますが、現職の方々、とくに若い世代の方々のご協力が不可欠です。後輩たちのためにどうぞよろしくお願申し上げます。

創立100周年記念事業実行委員会 委員長　田中 俊郎（17回）

記念募金・寄付金額現況　総額　55,324,480円（2,472件）　2019年3月31日現在　朝陽同窓会

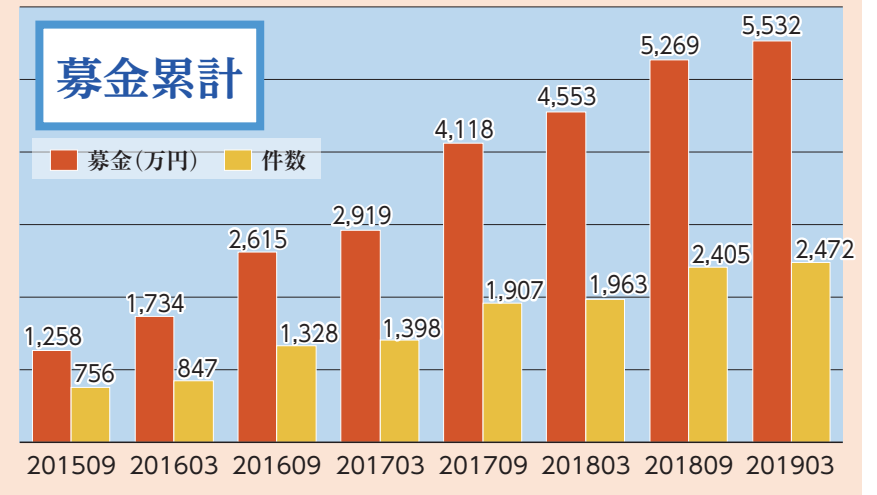
卒業年	回生	件数	
1935年3月	中9回生	4	130,000
1936年3月	中10回生	2	20,000
1937年3月	中11回生	1	10,000
1938年3月	中12回生	0	0
1939年3月	中13回生	4	80,000
1940年3月	中14回生	2	40,000
1941年3月	中15回生	3	50,000
1942年3月	中16回生	4	60,000
1943年3月	中17回生	8	156,000
1944年3月	中18回生	18	802,376
1945年3月	中19回生	20	316,000
1945年3月	中20回生	21	430,000
1947年3月	中21回生	20	229,000
1949年3月	1回生	23	571,000
1950年3月	2回生	31	421,000
1951年3月	3回生	43	718,000
1952年3月	4回生	36	652,000
1953年3月	5回生	56	997,697
1954年3月	6回生	51	869,000
1955年3月	7回生	77	2,514,000
1956年3月	8回生	54	901,000
1957年3月	9回生	84	2,245,000
1958年3月	10回生	82	2,301,000
1959年3月	11回生	82	1,538,000
1960年3月	12回生	69	1,191,000
1961年3月	13回生	54	1,059,000
1962年3月	14回生	93	1,907,000
1963年3月	15回生	128	3,260,000
1964年3月	16回生	78	2,032,000
1965年3月	17回生	94	1,612,000
1966年3月	18回生	86	4,853,300
1967年3月	19回生	86	3,050,000
1968年3月	20回生	87	1,550,000
1969年3月	21回生	48	675,000
1970年3月	22回生	57	1,038,000
1971年3月	23回生	51	740,000
1972年3月	24回生	80	1,400,000
1973年3月	25回生	64	1,300,000
1974年3月	26回生	60	1,120,000
1975年3月	27回生	49	630,000
1976年3月	28回生	39	455,000
1977年3月	29回生	34	770,000
1978年3月	30回生	37	366,000
1979年3月	31回生	30	720,000
1980年3月	32回生	25	400,000
1981年3月	33回生	14	184,000
1982年3月	34回生	23	346,000
1983年3月	35回生	46	1,598,000
1984年3月	36回生	11	210,000
1985年3月	37回生	34	426,000
1986年3月	38回生	23	380,000
1987年3月	39回生	17	230,000
1988年3月	40回生	20	220,000
1989年3月	41回生	16	210,000
1990年3月	42回生	16	210,000
1991年3月	43回生	10	120,000
1992年3月	44回生	3	30,000
1993年3月	45回生	11	160,000
1994年3月	46回生	6	60,000
1995年3月	47回生	10	157,500
1996年3月	48回生	5	140,000
1997年3月	49回生	2	20,000
1998年3月	50回生	5	50,000
1999年3月	51回生	2	20,000
2000年3月	52回生	8	80,000
2001年3月	53回生	6	150,000
2002年3月	54回生	5	50,000
2003年3月	55回生	5	50,000
2004年3月	56回生	7	110,000
2005年3月	57回生	2	30,000
2006年3月	58回生	5	50,000
2007年3月	59回生	1	30,000
2008年3月	60回生	3	30,000
2009年3月	61回生	4	40,000
2010年3月	62回生	6	60,000
2011年3月	63回生	3	30,000
2012年3月	64回生	2	20,000
2013年3月	65回生	3	50,000
2014年3月	66回生	3	35,000
2015年3月	67回生	4	40,000
2016年3月	68回生	4	35,000
2017年3月	69回生	3	21,000
2018年3月	70回生	2	20,000
旧教職員	－	30	390,000
あい基金		7	2,873,907
会員以外	－	10	178,700

（円）

緑：第Ⅰ期合計　29,194,873円
黄：第Ⅱ期合計　26,129,607円

御　礼

皆様のお陰で5,500万円超！
百周年は3年後に迫っています
ご寄付は何回でもできます
よろしくお願いいたします



創立100周年記念募金にご協力いただいた同窓生の皆様に感謝を込めて

第Ⅱ期（2018年度分）記念募金寄付者一覧（2018.4.1～2019.3.31、敬称略）

- ご芳名掲載のご承諾をいただいた方を対象に、卒年期毎にあいうえお順にて掲載しています。
  尚、2018.3.31以前にご寄付いただいた方につきましては、昨年の朝陽（別紙）に掲載済です。
- 前回にお載せ出来なかった方につきましては今回改めて掲載させていただきました。
- ご承諾されながら掲載されていない方につきましてはお詫び申し上げます。
  事務局までご連絡をお願いいたします。次の機会に掲載させていただきます。
- 寄付件数　第Ⅰ期　1,398件
  第Ⅱ期　1,074件（内、2018年度分509件の内ご承諾の326件を今回掲載）

【旧教職員】
岩波　裕治
大西　安
小林　勝江
永田　正博
【中第16回生】
渡辺　尚美
【中第17回生】
百目鬼　清
【中第18回生】
田崎　昭太郎
望月　亨
山本　進
【中第19回生】
蓮井　治
安田　和義
【中第20回生】
安達　祝伍
佐藤　秀昭
清水　典郎
津田　隆
中島　佑輔
【中第21回生】
樋口　正輝
松本　雄吉
【第1回生】
垣花　昌彦
栗田　俊信
山内　和彦
【第2回生】
小崎　勇二
後藤　澤之助
豊島　治
永井　進
森　武美
【第3回生】
石井　徹
北村　昌也
中本　信幸
藤原　徹也
【第4回生】
浅野　祥三
荒尾　好英
植田　忠義
尾崎　俊一
島津　敬二
中田　弘
長野　章夫
松下　嘉温
【第5回生】
平　明子
髙本　孝
谷口　皓一
津崎　經世
中山　昇
【第6回生】
岩路　あい子
小宮　光三郎
千秋　達道
中村　豊
鍋倉　明
野坂　忠男
半田　敏久
三浦　正純
【第7回生】
岩本　穎一郎
加藤　英樹
川地　美子
捧　暢夫
寺村　隆
林　明美
吉村　悟
【第8回生】
髙坂　盛彦
富田　純明
中島　悟
八十島　治雄
【第9回生】
足立　英夫
奥　彬
加賀美　正敏
後藤　茂彦
徳永　正昭
中井　英一郎
松田　秀次郎
山﨑　起助
【第10回生】
渥海　清志
大髙　浩
片岡　玲子
鴨田　恒子
高池　和之
高橋　一修
田中　一宜
中島　邦子
中島　紀義
長谷　好男
新元　榮
藤岡　庄衛
増井　邦雄
宮川　忍
【第11回生】
大森　康晴
黄川田瑠璃子
小林　雅司
鈴木　庸生
髙山　眞知子
田中　収三
中村　勝彦
中村　宏樹
野村　満
山形　文一
【第12回生】
小久江　栄一
福井　健統
細井　大二
御手洗　顕
宮永　喜久子
【第13回生】
伊丹　昭雄
岡戸　征昭
小島　義紀
小早川　保昭
菅沼　邦雄
永山　榮子
吉永　益雄
【第14回生】
数井　秀器
菊地　大東
黒澤　正義
塩沢　勲
鈴木　洋
東山　道之
藤井　清彦
藤田　安彦
本多　一枝
宮崎　圀彰
【第15回生】
秋山　小南
岡田　誠
川合　昭夫
窪田　道夫
立川　正人
垂水　尚志
俵　豊
鳥海　洋
永野　恭子
縄田　晴明
西出　紀久
西原　達郎
藤原　英二
三浦　貫生
望月　慎一
矢野　義明
【第16回生】
朝比奈　秀行
浦川　道太郎
樋野　勝之
藤森　泰明
前田　清彦
松尾　清子
武藤　清
柳原　和道
山田　新
【第17回生】
阿比留みど里
荒井　勇
内山　巌雄
宇野　和夫
亀岡　康雄
嘉山　兼孝
唐嵜　勝子
桑原　龍司
近藤　正士
塩田　泰之
田中　俊郎
羽生　次郎
平川　正隆
松島　真美
綿引　達郎
【第18回生】
新居　隆
草川　衛
佐藤　真弘
髙橋　道郎
田中　淳
花形　静雄
林　洋和
檜垣　不二夫
藤井　恒彦
松田　英三
最上　和親
【第19回生】
諫山　忠則
市川　一泰
井上　治
榎本　正樹
大西　直樹
柏木　由夫
清水　正明
杉山　隆
野口　譲治
平野　紀雄
古谷　延敏
益田　久和
吉井　みくに
吉岡　喜人
【第20回生】
大島　明
角本　敬
菊池　亮
栗原　行
高林　克日己
中村　直明
原　哲夫
原田　秀樹
山川　悦子
米本　行範
【第21回生】
岸波　正明
工藤　徹
栗原　幸二
河内　和子
下田　俊幸
西谷　義敬
広瀬　茂雄
山村　至
【第22回生】
岸本　敏郎
木山　和義
國元　祐二
斎藤　晴樹
坂本　龍一
竹内　邦彦
富山　優一
中村　治樹
吉田　昌弘
渡部　直也
【第23回生】
網野　敦
稲葉　詩子
大谷内　学
川西　徹
木村　実
坂本　哲
佐々木　健雄
佐々木　俊彦
佐藤　裕志
下島　正幹
松本　龍夫
【第24回生】
池部　清彦
岩下　明
尾形　修一郎
酒井　邦彦
龍岡　友子
谷口　康宏
土井　利和
林田　千春
原田　真理
山下　眞澄
【第25回生】
川又　直
佐藤　恵子
高野　直樹
名木田　秀吾
原田　康弘
前　宏美
三木　悟
美土路　純一
若月　保
渡辺　康隆
【第26回生】
門倉　義一
神蔵　孝之
久保　祐一
杉山　毅夫
武田　幸子
梨谷　実
藤井　毅
三矢　惠子
柳澤　宏実
【第27回生】
赤井　孝文
大橋　一之
小林　誠
宮坂　雅子
【第28回生】
髙田　伸一
内藤　淳
平岡　啓
【第30回生】
石川　裕
今井　秀二
小柏　葉子
菖蒲　公治
難波　直樹
檜山　直彦
山崎　好子
【第31回生】
方波見　卓行
中澤　伯人
柳川　由見子
【第32回生】
久間　啓司
白川　敦
野中　道生
【第33回生】
黒木　美奈子
【第34回生】
小野　瑞城
清水　発
塚本　美季
本間　謙
【第35回生】
安部　ふゆみ
太田　圭子
岡村　未対
久保　浩
菱倉　真理
藤江　敏郎
宮崎　雅弘
森　憲秀
【第36回生】
中谷　圭一郎
安江　俊明
【第37回生】
一國　伸之
岩山　隆寛
外山　幸史
早川　悦子
【第38回生】
岩﨑　洋平
田中　雅子
仲村　亮正
野明　俊道
陽田　賢一
【第39回生】
大嶋　慶諾
【第40回生】
相澤　匡
井上　一世
藤崎　泰徳
藤原　貴也
安田　秀行
吉川　孝史
【第41回生】
宇賀神英津子
加藤　友海
西門　健一郎
宮岡　誠
【第42回生】
尾鷲　愛子
【第44回生】
宮島　宗一
【第45回生】
コルソーバー知子
【第46回生】
浅沼　一弘
【第47回生】
楢原　常宣
【第48回生】
小池　崇喜
【第50回生】
姜　在根
【第53回生】
重田　真名美
田中　真之
【第54回生】
森山　広介
【第57回生】
角田　宏介
【第58回生】
三田　隆裕
【第62回生】
藤川　三世
山森　掌太
【第70回生】
加納　光
田村　咲
【グループ・有志】
六中21回生同期会
7回生同期会
緑酔会
11回同期会及び二木会
21回生3年A組有志
新宿高校40回生同期会

大きく変わろうとしている高等学校教育に応援ください　新宿高校　古溝紀也(前)副校長

同窓会の皆様、昨年度も臨海教室備品、小型船舶資格取得援助、部活動大会出場交通費援助、奨学金制度、進路ガイダンス講師派遣等様々な場面でご支援ご協力いただき、ありがとうございました。昨年度の教育活動も順調に取り組むことが出来ました。特に、進路指導では、本校の目標である進学重点校指定に向け、基準であるセンター試験５－７型６割以上の受験を達成することが出来ました。

高等学校の教育が大きく変わろうとしています。2022年から年次進行で実施予定の新学習指導要領では、教科目の編成も見直されており、これまでにない大改訂となります。本校でも、準備を進め、対応しているところであります。

今回の高校教育改革のキーワードとして「探究」があります。「探究」とは、生徒が自ら問いを立て、様々な学問・科学や芸術の手法を駆使して、より良い答えを見出していくような学習を指します。一つの「正解」を人から教わるのではなく、試行錯誤を繰り返し、多様な他者と協働しながら、いちばん良いと思われる「解」（最適解）を見出していくような学びです。

多くの教科科目の内容が見直されますが、「日本史探究」「世界史探究」「古典探究」など「探究」のつく科目名が目立ちます。中でも、「理数探究」に注目が集まっており、本校でも理数研究指定校として「内藤とうがらしプロジェクト」に取り組んでいます。「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）を身につけ、自己と社会をつなぐ総合探究活動。こちらも、同窓会のご支援とご協力があっての活動であり、改めて感謝申し上げます。今後は、新宿高校の特産品として発展させていこうと考えております。応援をよろしくお願いいたします。

エライところへ来てしまった　朝陽同窓会　副会長　橋本健一（19回）

新宿高校入学は1964年（昭和39年）、新19回生である。入学式はあいにくの雨。初代校舎の２階にあった薄暗い講堂に緊張して並んでいたことが想い出される。男子は黒い詰襟の学生服。白線を２本巻いた学生帽が憧れであった。女子は紺の標準服。

「高校に行ったら勉強が大変になるぞ」と中学校の先生から常々聞かされていたことであるが、入学後すぐに体験することになる。

入学式の翌々日あたりから授業が開始される。最初の英語リーダーの時間、どうせ、最初は説明などで終わってしまうだろうからと、予習もしていかなかった。ところが……である。簡単な説明の後、「では、教科書を開いて」といきなり本番に入ってしまった。「何行目まで、読んで訳して」と次々当てられていくのだが、誰も同じ気持であったらしく、予習をしていないから、「わかりません」「調べていません」……となる。

しかし、再び、ところが……である。スラスラと読み、訳していく生徒がいるではないか。彼はきちんと予習をしていたのである。これはエライところへ来てしまったと思った。

机の引き出しの奥から高３の時（1966年）の時間割表が出てきた。紙面の都合上すべてを紹介できないが、７時限まで授業のあった木曜日の時間割を見てみよう。１時限：数ⅠⅡB（今泉）、２時限：１時限に同じ、３時限：現国（佐藤）、４時限：体育、５時限：HR（辻）、６時限：化学（鈴木）、７時限：世界史（武井）である。（　）内は担当教員名。体育は種目によって担当者が変わるので教員名は記されていない。

もう53年も昔のことであるのに、時間割表を眺めていると授業中の教室の様子、授業をされている先生の声までもが鮮明によみがえってくる。

それ以外にも、クラブ活動、学園祭などなどたった３年間の間によくこれだけのことが詰まっているなと思うほど、様々なことが想い出される高校時代……。

そうだ、募金しよう！！

遠い目標あるいは夢　朝陽同窓会　副会長　宮坂雅子（27回）

昭和47年は、私が新宿高校に入学した年です。西暦ですと1972年になります。

入学した最初の頃、先生から歌舞伎町へ入ってはいけないということを教えていただきましたが、その次に、先生から新宿駅周辺の将来計画を教えていただきました。それは詳しくは覚えていませんが、大規模なバスターミナルができるという内容を含んでいました。約40年後の現在、なんと本当に大規模なバスターミナルができてしまいました。私は、夢を考え、構想し、計画することの「力」を知ったのです。

今、新宿高校の創立100周年に向かった計画や募金が行われています。［母校の支援］、［伝統の継承］、［会員の親睦］を進めていくとともに、私は私がこの先いなくなった後のことを夢見たいと思います。それは500人収容できるホール、大小の会議室をそなえた同窓会館です。場所は学校に隣接した敷地にあります。「夢」は「構想」となり、50年間の長期募金活動となり、「計画」となり、実現するでしょうか。

創立100周年の行動は、その先50年、100年への過程であるはずです。その先50年の計画は、今、何も決まっていませんが、同窓生の夢、熱意、志が何かすばらしい、建設的な計画と実現につながっていくことを信じます。ですから、私は、多くの方々がこの募金に参加していただくことを楽しみにしているのです。

一枚の織物

朝陽同窓会　副会長　小野瑞城（34回）

同期会やクラブのOB/OG会等をはじめとする同窓会活動へご尽力いただき有難うございます。新宿高校や朝陽同窓会は同期という緯糸とクラブという経糸とを持つ一枚の織物と捉えられます。そして皆それぞれ何れかの緯糸ないし経糸に所属され、人の繋がりや絆を築かれていることと思います。その母校は3年後に創立100周年を迎えます。この機会にご自身が所属されている緯糸ないし経糸以外の方々との繋がりをお築きになってはと思います。

毎年5月の総会の後には懇親会が開かれ、秋にはホームカミングデーが開催されています。是非、足をお運びください。また、9月の初めに開催される朝陽祭では若き緯糸の発表をご覧になってはいかがでしょうか。

母校の創立100周年を記念して、朝陽奨学金、館山寮の改修、集いの場の確保、を三本の柱に据えて募金が行われていることはご存知の通りです。これまでに頂戴いたしました多大なご厚志にお礼を申し上げます。

しかしながら目標額である1億円にはまだ道半ばであり、このままでは貧弱な柱にしかなりません。立派な柱とすべく更なるご厚情をお願い申し上げます。

なお、当然のことながら平素の同窓会活動に経済的な裏付けが必要です。年会費はこれまでの金融機関に出向いての払い込みに加えて口座引き落としも新たに可能となります。払込みをお忘れにならない様に併せてお願い申し上げます。

---

02 東京　　払込取扱票　　通常払込料金 加入者負担

口座番号（右詰めにご記入ください）：0 0 1 7 0 ー 8 ー 1 4 7 5 1 0

金額：千 百 十 万 千 百 十 円　※

料金：特殊取扱

加入者名：都立新宿高等学校朝陽同窓会

各票の※印欄は、払込人において記載してください。

払込人住所氏名・通信欄

※（郵便番号　　）

住所

（フリガナ）

氏名　　（旧姓　　）　（中高　回卒　回卒組）

ＴＥＬ　（　　）

必ず該当欄にレ印をつけて下さい。

□百周年募金　寄付＿＿回目（一口1万円）（金額＿＿＿＿円）

百周年芳名顕彰　募金をされる方は必ず掲載可否にレ印ください

・同窓会誌（「朝陽」等）掲載の可否　□可　□不可

・銘板掲載の可否　□可　□不可

□同窓会年会費　2,000円（寿会員と卒業5年以内の方は免除）

□長期会費　10,000円（6年分）

受付局日附印

裏面の注意事項をお読み下さい。　（私製承認東第4732号）

切り取らないで郵便局にお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

払込票兼受領証

口座番号：0 0 1 7 0 ー 8　通常払込料金加入者負担

右詰めにご記入ください：1 4 7 5 1 0

加入者名：都立新宿高等学校朝陽同窓会

金額：千 百 十 万 千 百 十 円　※

払込人氏名　※

料金（消費税込み）　円　　受付局日附印

特殊取扱

主要3事業プロジェクト		今後の主要プロジェクト
朝陽奨学金の新設	延べ37名に給付済	記念祝賀会
館山寮の改築	厨房・食堂の改修、船倉改築　完了	記念音楽会
集いの場の確保	レストラン提携 事業準備室開設	100年誌編纂

主な実施プロジェクト	朝陽合唱団	ホームカミングデー	業間体操DVD化	合唱コン課題曲寄贈	記念ロゴマーク

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。

ご　注　意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、下部の欄（表面及び裏面）を汚したり、本票を折り曲げたりしないでください。

◇代表発起人◇

東京都立新宿高等学校朝陽同窓会　会長
創立100周年記念事業実行委員会　委員長　　田中俊郎（17回）

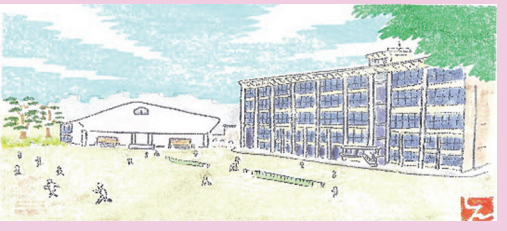
◇発起人◇

松本雄吉（中21回）　河合明博（５回）　橋本惠堅（９回）　村上光一（10回）
垂水尚志（15回）　池辺晋一郎（15回）　青柳正規（15回）　塩崎恭久（22回）
宮﨑直道（24回）　西尾信子（24回）　鈴木裕太（25回）　金杉一朗（26回）
戸城幸夫（29回）　鎌田邦広（35回）　寺村仁美（37回）　関嶋政和（44回）

募集要項

●名　称　創立100周年記念募金（第Ⅲ期）
●目標額　５０００万円
●目　的　・朝陽奨学金の給付
・館山寮の改築
・集いの場の確保
●期　間　２０２０年度末までの２年間
●単　位　一口1万円、出来れば複数口を！
1万円未満のご寄付も受付けます

●顕彰
ご芳名を同窓会誌（「朝陽」等）と
2022年度に設置予定の銘板に掲載し、
末永く顕彰させていただきます



払込方法

本紙の払込用紙をご利用の上、お近くの郵便局から払込み願います
◆払込上の注意点　払込用紙の該当する欄に必ずレ印をご記入ください
・ご芳名の掲載可否　顕彰にあたり、可（掲載）/不可（非掲載）のいずれかを選択ください
なお、無印は非掲載扱いとさせていただきます
・100周年記念募金の他、年会費、長期会費が払込めます

◆個人情報の保護　ご寄付に際し頂いた氏名や個人情報は朝陽同窓会の個人情報保護方針に基づき朝陽同窓会活動に必要な場合のみに限定利用します

◆寄付の税制上の優遇措置について
朝陽同窓会が人格のない社団（任意団体）であるため、適用はありません

2019年度
ホームカミングデー
開催日は、
「音楽会」をテーマに
11月23日（土）に決定！
ご来場を
お待ちしています。

朝陽合唱団

管弦楽部OG

「集いの場」 100周年事業準備室を開設

この度、新たな「集いの場」として「100周年事業準備室」を2018年９月に開設しました。今までご不便をおかけしていた「夜間・休日の会合」にお応えすることが出来るようになりました。100周年事業準備室とありますが、会員の皆様の各種会合にご利用いただけます。既に多くの方々にご利用いただき好評です。

〔 概　要 〕

- 利用目的　同期会やOB/OG会などの会議、趣味の会合、など
  但し、合唱、楽器演奏など近隣に迷惑となる大きな音等でのご使用はできません
- 場　所　新宿駅より徒歩５分、新宿高校より徒歩３分
  （テナントビルの一室）
- 利用人数　２０名程度まで可能
- 利用時間　平日・土日祝祭日午前10時～午後10時まで
- 備　品　テーブル、椅子、ホワイトボード
- ご利用方法　空き状況を事務局までお問い合わせください
  ご予約の際は、利用申込書にご記入いただきます
  詳細は朝陽同窓会事務局までお問合せください
- 特　記　本事業準備室は現契約上、2020年７月までの有期です。その後の利用については改めてご案内します

憩いの宿舎「朝陽秋川荘」開設予定！

永野文久様（13回）恭子様（旧姓高田様）ご夫妻から檜原村・秋川渓谷沿いの一軒家をご寄贈いただきました。今夏より宿泊施設として開設することを予定しています。乞うご期待！

「館山寮」 環境を改善しました

館山寮の建物・設備老朽化と熱中症対策及び衛生管理基準の厳格化への対応を目的に、2016年～2018年に渡り宿泊棟及び周辺の改修整備を行いました。総工費の約半分に当たる1,650万円を100周年募金から出資頂き、厨房建物の改築、設備の更新、食堂の冷房化、船倉及び倉庫の改築、竹藪の伐採整地などの事業を実施いたしました。

宿泊棟は2004年に大改修を加えたものの、建物本体は1967年の改築以来50数年を経ており、これを維持するには年々相当な費用が係ります。引き続きご支援を賜りますようにお願いいたします。

長年館山寮の管理人をされている本間さんご夫妻に田中会長から感謝状をお送りしました。

「朝陽奨学金」 今後も拡充を図ります

朝陽奨学金は経済的な環境に恵まれない新宿高校生を支援するものです。この制度は2016年度に始まり、現在３年目を迎えました。この間朝陽奨学金を支給された生徒数は延べ37名を数えます。一人当たりの奨学金は原則10万円で、貸付ではなくすべて給付するタイプです。この朝陽奨学金は100周年記念事業が終了する2022年度以降も、永続して行きたいと思っています。

また世界に羽ばたく人材を育成する手助けのため、同窓会員のうちの大学生を対象に海外留学支援金制度のようなものも開設することを検討します。このような支援金が将来有為な卒業生を少しでも支援するきっかけになると良いなと思っております。

◆発行/お問合せ　朝陽同窓会事務局　〒160-0014 東京都新宿区内藤町11-4　都立新宿高等学校内
電話：03-5368-8366　FAX：050-3730-0138
ホームページ：http://www.nchouyou.net/　電子メール：jchouyou@estate.ocn.ne.jp

［ロゴマーク　草川衛（18回）絵　向原真一（24回）］